

2024東浦町 中学生「わくわく数学教室」スタート！

8月19日(月)、「わくわく数学教室」を東浦町勤労福祉会館で開催しました。昨年度までは、東浦中学校での開催でしたが、今年度は試行として町教育委員会が主催となり、会場を変えて開催しました。「滞りなく開催できるだろうか……。」と、私はドキドキしていましたが、そんな心配はすぐに払拭！！頼もしい14人のSPさんに支えられて、素晴らしい数学教室を開催することができました。ありがとうございました。



この「わくわく数学教室」は、片葩小学校で12年前から開催されている、「わくわく算数教室」をモデルとして、同じような形で開催しました。学生主体で運営していく算数教室にならって、受付や出迎え、座席への誘導をSPさんに行っていただきました。普通の学習会では、運営は学校や主催の職員が運営しますが、「わくわく算数・数学教室」では運営もSPさんをお願いしています。そして、さすが東浦に来てくれるSPさん。「東浦のSPさんの意欲はすごいですよね。一人一人の能力も高いですよ。」とよく言われますが、「本当に初めての開催？」と思うほど、各自で様子を見てスムーズに動いてくれました。そして、夏休み後半の暑さもまだまだ厳しい日でしたが、30人近くの生徒がやってきました。(30人も“わざわざ数学を勉強しに来る”という事実がすごい！片葩小の「わくわく算数教室」でのSPさんとの楽しかった思い出が、中学校に行っても子どもたちの中に残っているのでしょう。)SPさんの温かい笑顔と雰囲気、そして元気な挨拶。それだけで子どもたちは「来てよかった」と思えたことでしょう。



数学教室が始まる前から、生徒と楽しそうに話すSPさん。中には、ウィークリーSPとして片葩小で関わってきた子どもと久しぶりの再会を喜ぶSPさんもいました。当然、生徒も大喜び！「久しぶり～！なんているの?!」SPさんと子どもたちとの関係性がうかがえる瞬間でした。中学校でウィークリーSPとして活動したことがあるSPさんは分かると思いますが、学校だと自分から話してくれる生徒はなかなかいません。でも、SPさんの作る温かい会場の雰囲気のおかげでしょうか。「中学生ってこんなに楽しそうに話すの？勉強するの？」と、私は驚きました。



どのSPさんも、すぐに生徒と打ち解けて学習に寄り添ってくれていました。特に何も指示していませんが、SPさんは生徒の様子を見て、それぞれ場所を移動していました。生徒の横に椅子を持ってくるSPさん、後ろに立って複数の生徒の様子を見守るSPさん、しゃがみこんで目線を合わせるSPさん。話しかける位置は、指導する上で意外に影響があります。また、SPさんから出てくる言葉は、本当に温かいです。「一緒に考えてみよう！」「よし！分かった！考え方を考えてみよう！」「この言い方だと分かりにくいな……。ちょっと考えさせて。」こんなに手厚い、温かい支援がオンパレードの学習会は、なかなかありません。生徒が1時間半、集中しつつもリラックスした様子で数学を勉強している姿に感動しました。自分一人で数学を1時間半勉強するのはなかなか大変なことです、真剣に向き合ってくれるSPさんがいるから、あれだけ頑張ることができるのだと思います。

3年生の図形の問題に取り組むSPさんと生徒。口頭でどれだけ説明してもなかなか分らなかった問題。西井SPの機転で実物を作って考えてみたら、すぐに分かったようです。生徒が感想用紙にも、「実物を作ってみたらすぐに分かりました！」と書いていました。あの手この手で、なんとか生徒に「分かった」と思える瞬間を作ってくれます。



